

# 一般会計予算 194億3328万円

(前年度 185億7000万円)

将来を  
見すえた  
市政運営

人を育む  
まち

快適に  
暮らせる  
まち

活力に  
満ちた  
まち

健やかで  
安心できる  
まち

平成27年度の鶴ヶ島市一般会計予算と特別会計予算5議案は、所管の常任委員会に付託され、審査されました。  
委員会での審査結果は、いずれも「可決すべきもの」で、最終日の本会議での採決の結果、可決されました。

## つるバス・つるワゴン

赤字の状況と利用者を増やすための取り組みは。

**Q 総務人権推進課長** 赤字の補償金として多額を支出してきたが、27年度予算では、26年度より146万7798円の減を見込んでいる。27年度からは、交通政策も含めて組織を一本化することから、他市が運行しているバスとの乗り継ぎや鉄道も視野に入れた検討が可能になる。

## ふるさと納税

寄附金の総額と今後の展開は。

**Q 地域活動推進課長** 既に寄附金が1億円を超えている。参加企業も増加し、3月には記念品の品目を追加した。引き続き鶴ヶ島の魅力を発信しながら、寄附を募っていききたい。

**Q** ふるさと納税の記念品として、農産物で鶴ヶ島色を示せる特産品を作る取り組みは。

**A 産業振興課長** 農産物では、今のところ狭山茶とお米の2品目を記念品としている。今後は、農業団体等と対話を重ね、特産品づくりを視野に入れた、新たな記念品を検討していききたい。

## 公共施設の借地問題

公共施設が借地に建設された背景と借地解消への対策は。

**Q 財政課長** 本市の人口が急増した時代に、財政面等から公共施設を建てる土地を一度に調達できず、借地が多くなった。借地の解消は市の財政の最優先課題であり、26年度から借地対策事業として事業化した。安定的な財源の確保に努め、借地問題の解消を図っていききたい。

## 番号制度導入

番号制度導入のメリットは。

**Q 市政情報課長** 各種申請の際に添付していた住民票などを情報として管理することで事前に取得する手間が減ること。また、新たな行政サービスを市側からご

## 期日前投票所

市民活動推進センターを期日前投票所として利用できないか。

**Q 選挙管理委員会書記長** 利便性の観点から検討したが、期日前投票所として利用できる会議室等の設備がないこと、また、出入り口が1つしかないことから、構造上利用は難しい。



期日前投票所

## 地域支え合い

地域支え合い協議会が設立されていない地区への働きかけは。

**Q 地域活動推進課長** 共栄地区では、設立に向けて自治会長や民生委員を中心に話し合いを進めているが、共栄地区内に複数の小学校区が重なっていること、ま

た隣接する地区が数多くあることから、他地区も含めて、どのエリアで設立するかを検討している。また、脚折地区等では、自治会長の会議などに職員が伺って地域支え合い協議会の趣旨の説明をしている。

## 市民センター

利用者を増やすための方策は。

**Q 市民生活部参事** 現在活動されているサークルや地域福祉団体と各市民センターが連携し、その活動を生かした講座や体験教室等を開催している。これらを通じて、サークルの支援や利用者の増加に努めていく。

## 鶴ヶ島市地域福祉計画

鶴ヶ島市第2期地域福祉計画策定への取り組みは。

**Q 福祉政策課長** 市民2000人を対象として、市民意識調査を実施する予定である。また、第1次地域福祉計画の策定に関わった関係団体等にヒアリングをしたいと考えている。それらを踏まえて、地域福祉審議会で審議をして、第2次地域福祉計画を策定していきたい。

## 生活困窮者自立支援

生活困窮者をどのように把握し、支援へつなげるのか。